

平成28年度東京国立近代美術館インターンシップ 募集案内

東京国立近代美術館では、大学院又は大学等に在学する学生等で近現代美術、工芸・デザイン及び映画の研究を志望し、美術館の活動と学芸業務に関心を持つ方を対象に、インターン(研修員)を募集します。本制度は、東京国立近代美術館の学芸業務を実地に体験することで、研究上の専門知識を深めるとともに、明確な職業意識と勤労観を育て、今後の美術館活動を担う人材の育成に寄与することを目的としています。

1 募集分野

今回募集するのは以下の6つ(A～F)の分野です(詳細については「インターン募集内容等一覧」をご覧ください)。

【美術館】 A 学芸:コレクション①近現代美術(絵画, 彫刻, 版画, 水彩・素描)

:コレクション②写真

B 学芸:企画展

C 美術館教育

D 図書資料

【工芸館】 E 学芸全般

【フィルムセンター】 F 学芸全般

2 受入人数

各分野若干名

3 受入期間

平成28年4月1日～平成29年3月31日の間で、原則として「インターン募集内容等一覧」に掲げる期間(分野により期間, 日数などは異なります)

4 受入条件

- (1)インターン(研修員)には活動状況に応じた交通費(一日につき500円を上限)を支給します。
- (2)必要な経費(交通費, 食費等)は, 各自でご負担ください。
- (3)インターン(研修員)活動中の普通傷害保険及び個人賠償責任保険は美術館の費用で加入します。
- (4)規定の研修時間(160時間以上)を活動可能な者。

※規定の研修を修了した者には, 修了証書を交付します。

5 研修時間

- (1) 美術館 原則 10:00～16:45 6時間(休憩45分)
- (2) 工芸館 原則 10:30～17:15 6時間(休憩45分)
- (3) フィルムセンター 原則 10:00～18:30 7時間45分(休憩45分)

6 選考方法とスケジュール(予定)

- | | |
|---------------------|--|
| (1)一次審査(書類選考)結果お知らせ | 2月上旬～中旬 |
| (2)二次審査(面接)実施 | 2月中旬～下旬 |
| (3)最終選考結果お知らせ | 3月上旬 |
| (4)オリエンテーション | 4月上旬(美術館・工芸館とフィルムセンターはそれぞれ別
に実施します) |

7 応募方法等

(1)応募書類

① インターンシップ・エントリーシート(別紙1)

(東京国立近代美術館のホームページ <http://www.momat.go.jp/> よりダウンロードしてください)

② 小論文(課題等は「インターン募集内容等一覧」をご覧ください)

* 応募書類は返却いたしません。

* 応募書類に記載された個人情報は、本研修制度の選考以外には使用しません。一定の保存期間経過後、責任をもって廃棄いたします。

* A 学芸(コレクション)応募者は①近現代美術／②写真の希望、また C 美術館教育応募者は指定の研修日時①全期／②夏期のうち希望する日程をエントリーシートに明記してください。

* インターンシップで学びたいテーマについては「その他」の項目に記載してください。

(2)募集期間

平成27年12月7日(月)～平成28年2月2日(火) 必着

(3)応募書類の提出先等

【宛先】

〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1

東京国立近代美術館 運営管理部総務課 研修担当

(封筒の表に「インターン応募」と朱書きし、必ず簡易書留又は配達証明郵便等でご送付ください)

【問い合わせ先】

東京国立近代美術館 運営管理部総務課 研修担当

電話:03-3214-2591 (直通 平日 10:00～17:00)

ファックス:03-3214-2577

e-mail:kensyu@momat.go.jp

インターン募集内容等一覧

【美術館】

A 学芸:コレクション①近現代美術(絵画, 彫刻, 版画, 水彩・素描)又は②写真

内容	所蔵作品(①近現代美術(絵画, 彫刻, 版画, 水彩・素描)又は②写真)に関連する業務及び関連文献等の収集と整理の補助 所蔵作品展(年4~5回展示替)の運営に関する業務の補助
対象者	近代美術又は写真史を専攻する大学院修士課程又は博士課程に在学する者
研修日時	原則として全期間 日程・時間は担当者と協議の上, 決定
課題小論文 テーマ	(1) インターンとして学びたいこと (2) インターンの経験を生かして将来目指したいこと いずれかの課題を選択し, 1600字程度(A4縦, 横書き, 2ページまで)で提出

B 学芸:企画展

内容	企画渉外事業の補助 企画展の準備一般, 広報, その他企画展に関する業務の補助及び関係書類の整理
対象者	美術史又は美術を専攻する大学院修士課程又は博士課程に在学する者
研修日時	原則として全期間, 週1日
課題小論文 テーマ	「あなたの専攻との関連からインターンとして学びたいこと」 1600字程度(A4縦, 横書き, 2ページまで)で提出

C 美術館教育

内容	教育普及に係る次に掲げる事業の補助 (1) 子どもを対象とする教育プログラムの企画・実施 (2) 教員を対象とする研修プログラムの企画・実施 (3) 来館者を対象とする教育普及プログラムの企画・実施
対象者	美術史, 美術又は美術教育を専攻する大学又は大学院修士課程もしくは博士課程に在学する者
研修日時	全期間(週1日以上), 又は夏期(6月~9月) エントリーシートに①全期又は②夏期を明記のこと 日程・時間は担当者と協議の上, 決定 ただし, 教育プログラム実施の際は, 事前に協議の上, 曜日や日数に変更となる場合がある
課題小論文 テーマ	(1) 自分の専攻との関連からインターンとして学びたいこと (2) インターンの経験を生かして将来目指したいこと いずれかの課題を選択し, 1600字程度(A4縦, 横書き, 2ページまで)で提出

D 図書資料

内容	2012年に60周年を迎えて刊行した『東京国立近代美術館60年史』の成果を踏まえ、ミュージアム・アーカイブの整備を一層進めるため、主として以下の作業の補助を行う。 (1) 展覧会等記録写真の収集・整理・保管 (2) 展覧会評等報道記事の収集・整理・保管 (3) 当館の活動に関して歴史的証言となる言説の収集・整理・保管 ならびに上記(1)-(3)のメタデータ・データベースの構築に関わる調査と試行
対象者	図書館情報学もしくはアーカイブズ学を専攻する大学又は大学院修士課程もしくは博士課程に在学する者
研修日時	原則として全期間、週1日以上
課題小論文テーマ	「あなたが望ましいと考える美術館の中のライブラリーのイメージ」 1600字程度(A4縦, 横書き, 2ページまで)で提出

【工芸館】

E 学芸全般

内容	工芸館における企画展及び所蔵作品展の準備一般, 所蔵作品の取扱いと研究, 教育普及プログラム, 広報の補助に関連する業務
対象者	近代工芸, デザイン又は近代美術を専攻する大学又は大学院修士課程若しくは博士課程に在学する者
研修日時	原則として全期間, 週1日以上 日程・時間は担当者と協議の上, 決定 ただし, 展示替及び教育プログラム実施の際は, 事前に協議の上, 曜日や日数が変更となる場合がある
課題小論文テーマ	(1) インターンとして学びたいこと (2) インターンの経験を生かして将来目指したいこと いずれかの課題を選択し, 1600字程度(A4縦, 横書き, 2ページまで)で提出

【フィルムセンター】

F 学芸全般

内容	フィルムセンターにおける次に掲げる業務の補助 (1) 上映会・展覧会等の実施に関わる業務 (2) 映画フィルム及び関係資料の収集・保存・整理に関わる業務
対象者	映画・映像を専攻する者又は映画(各国映画史, 映画技術研究を含む)に関連する高度な知識を有する者で大学院修士課程又は博士課程に在学する者
研修日時	原則として3~6箇月間, 週1~2日 日程・時間は担当者と協議の上, 決定
課題小論文テーマ	(1) フィルムセンターでの研修を希望する理由 (2) インターンの経験を生かして将来目指したいこと いずれかの課題を選択し, 1600字程度(A4縦, 横書き, 2ページまで)で提出

別紙1

平成28年度 東京国立近代美術館
インターンシップ・エントリーシート

フリガナ	記入日 平成 年 月 日
氏名 印	性別 男 ・ 女
	生年月日 年 月 日(満 歳)
〒 住所	
電話	ファックス
携帯電話	メールアドレス
来年度在籍予定の学校名・学部・学科等名・在学年次	
応募分野 (○をつけてください)	【美術館】 A 学芸(コレクション: ①近現代美術 ②写真) B 学芸(企画展) C 美術館教育(研修期間: ①全期 ②夏期) D 図書資料 【工芸館】 E 学芸全般 【フィルムセンター】 F 学芸全般
来館可能日 (○をつけてください)	【美術館】 月 ・ 火 ・ 水 ・ 木 ・ 金 【工芸館】 月 ・ 火 ・ 水 ・ 木 ・ 金 【フィルムセンター】 火 ・ 水 ・ 木 ・ 金 ・ 土
学歴・職歴 (在学期間・在職期間もあわせてご記入ください) (大学) (大学院) (職歴・その他)	
大学院又は大学での研究テーマ	
特技・資格等	
その他、応募動機、自己PRなどございましたらお書きください。	

※この様式は日本語で記入すること。

※記入欄に書ききれない場合は、別紙を作成して添付すること。